

テーマ：北方領土（実践校）

石狩管内 江別市立江別第三中学校

■本実践のポイント（概要）

- ・北海道の歴史について理解を深め、郷土への愛着や誇りを育むため、社会科等と関連を図りながら、北方領土に関する学習を設定しました。また、アニメ映画「ジョバンニの島」や語り部の講話などを活用し、生徒が多様な視点で学ぶことができるよう工夫しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 教科等横断的な学習について

第3学年社会科の歴史分野において、戦後の日本とソ連との関係を学んだ後、動画教材を活用し、北方領土の自然や歴史などについて理解を深めました。

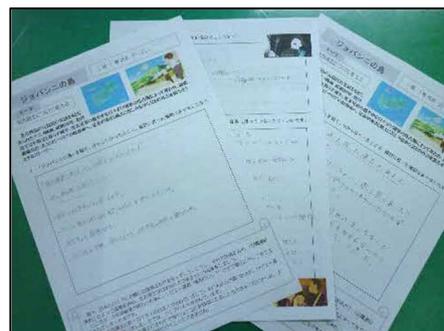
さらに、道徳科において、郷土に対する生徒の考えを交流し、学びを深めました。

(2) 多様な教材の活用について

北方領土の自然や昔の生活の様子、歴史の概要の理解を深めることができるよう、北海道総務部北方領土対策本部が作成したDVD学習資料「みんなで学ぼう北方領土」を活用しました。

また、アニメ映画「ジョバンニの島」を視聴し、当事者に思いを寄せながら北方領土の歴史について考えることができました。

新型コロナウイルス感染症予防の影響により、講師を招くことが難しかったため、政府インターネットテレビで視聴することができる元島民の方の講話を活用しました。



【「ジョバンニの島」視聴後に記入したワークシート】



【北方領土をとおして郷土について考える授業の様子】

②生徒の感想

- ・動画を見たり、元島民の方の話を聞いたりして、北方領土がどんな所か知り、身近に感じることができました。
- ・アニメ映画「ジョバンニの島」を見て、島の人達の思いと、他国の人達の思いの両方が伝わってきて、今までよりもずっと深く北方領土問題について考えることができました。
- ・アニメ映画「ジョバンニの島」では、島民が最後まで島を守る姿に感動しました。また、元島民が北方領土に誇りをもっている姿を見て、自分自身も自分の町に誇りをもとうと思いました。

■取組の成果（○）と課題（●）

- 北方領土の学習に関するアンケートで「今、住んでいる地域の歴史や自然について関心がある」と回答した生徒の割合が42%から58%に、「北方領土の自然や歴史、領土の返還についてもっと調べたい」と回答した生徒の割合が42%から65%に、「北海道や自分たちの住んでいる地域に、誇りや愛情をもっている」と回答した生徒の割合が84%から90%にそれぞれ増加しました。
- 学習の中で、北方領土問題の解決に向けた取組や、ビザなし交流などの住民同士の交流を積み重ねる意義について視点が広がるなど、問題解決に向けて考えようとする意欲を高めることができました。
- 北方領土をより身近に感じ、主体的に関わっていくことができるよう、体験的な学習を位置付けるなど、学習過程を一層工夫する必要があります。